



2026年2月12日
長野電鉄株式会社
東日本旅客鉄道株式会社

長野電鉄における「地域連携 IC カード」システムを利用した Suica 等 IC 乗車サービスの提供について

- 長野電鉄株式会社(長野県長野市 代表取締役社長:久保田 敏之)、東日本旅客鉄道株式会社(東京都渋谷区 代表取締役社長:喜勢 陽一)は、「地域連携 IC カード」システムを利用した IC 乗車サービスの提供について合意しました。
- Suica および Suica と相互利用可能な他の交通系 IC カードを長野電鉄でご利用いただけるようになります。
- 長野地域では、2025年3月に路線バスを対象に地域連携 IC カード「KURURU」がサービスインしました。同じく2025年3月には信越本線や篠ノ井線における Suica 利用駅が拡大され、2026年3月14日にはしなの鉄道への「Suica」導入が予定されています。交通系 IC カードのご利用により、便利で快適な公共交通での移動を提供します。

1 サービス開始時期

2027年(令和9年)春のサービス開始を予定しています。具体的な日程、サービス内容等については、決定次第お知らせいたします。

2 サービス導入エリア

長野電鉄(長野～湯田中)の全線全駅への導入を予定しています。
鉄道への「地域連携 IC カード」システムの導入は、長野県初です。

3 「地域連携 IC カード」について

地域連携 IC カードは、東日本旅客鉄道株式会社が提供する、地域の交通事業者が運行する鉄道・バスの定期券や各種割引など地域独自サービスの機能に加えて、Suica エリアおよび Suica と相互利用を行っているエリアで利用可能な乗車券や電子マネーなどの Suica のサービスが1枚でご利用いただける2 in 1 カードです。長野地域では2025年3月から路線バスを対象に地域連携 IC カードを導入しており、地域におけるよりシームレスな移動が可能となります。

地域連携 IC カードの概要及び導入状況に関しては、別紙をご参照ください。

【別紙】地域連携 IC カードサービスの概要及び導入状況

○地域連携ICカードの概要

地域連携ICカードをご利用いただくことで、全国相互利用可能な交通系ICカードと地方圏で発行されている独自ICカードの2枚持ちが解消され、地方交通と鉄道のシームレスな移動が可能になります。



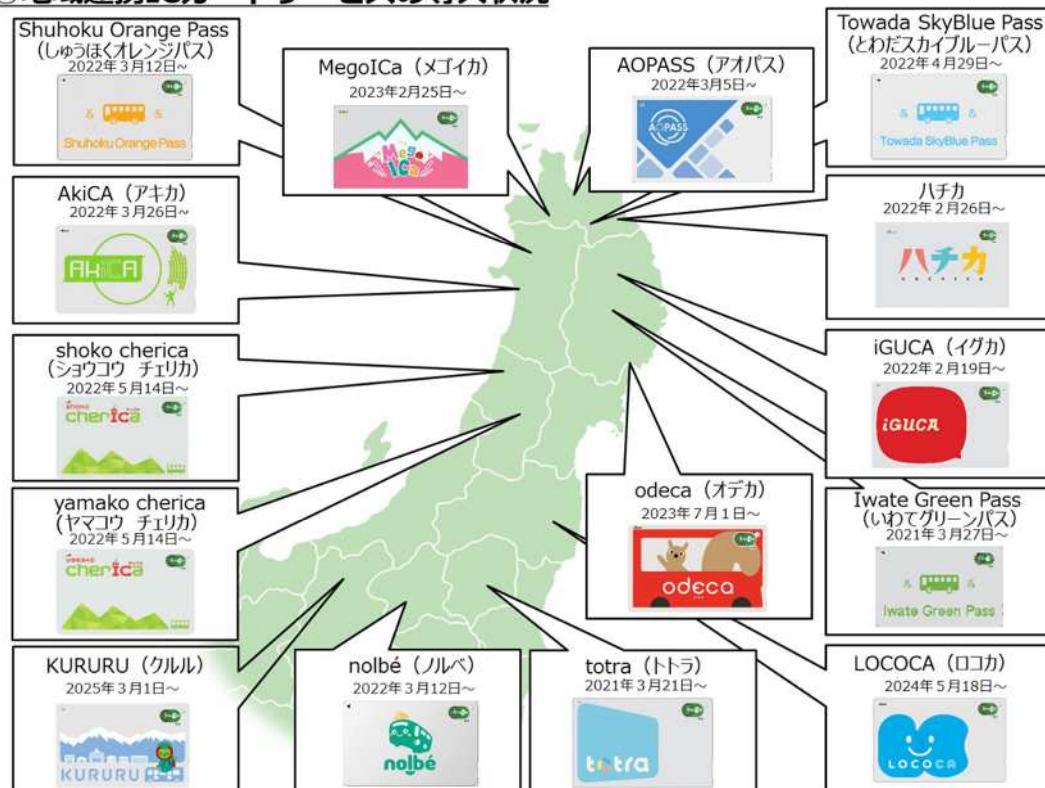
【地域連携ICカードで新たに実現できるサービス】

- ・地域バス定期（距離制、片道、深夜）（※）
- ・独自の割引サービス（乗継割引など）
- ・交通/福祉ポイントサービス
- ※バス定期券は券面印字は行わずレフアレンスペーパーを発行

【既存のSuicaと同一のサービスを利用可能】

- ・チャージ
- ・SF利用
- ・履歴印字
- ・個人情報変更
- ・定期券の発売/利用（鉄道・PASMOバス）
- ・オートチャージ設定
- ・Suicaグリーン券
- ・電子マネー利用
- ・タッチでGo!新幹線利用
- ・新幹線eチケット利用
- など

○地域連携ICカードサービスの導入状況



※「totra」は関東自動車株式会社の登録商標です。

※「Iwate Green Pass」は岩手県交通株式会社の登録商標です。

※「iGUCA」は岩手県北株式会社の登録商標です。

※「ハチカ」は八戸市および岩手県北自動車株式会社の登録商標です。

※「AOPASS」は青森市の登録商標です。

※「Towada SkyBlue Pass」は十和田観光電鉄株式会社の登録商標です。

※「Shuhoku Orange Pass」は秋北バス株式会社の登録商標です。

※「nolbé」は群馬県バス事業協同組合の登録商標です。

※「AkiCA」は秋田中央交通株式会社の登録商標です。

※「cherica」は山交バス株式会社および庄内交通株式会社の登録商標です。

※「MegoICa」は弘南バス株式会社の登録商標です。

※「LOCOWA」は新常磐交通株式会社の登録商標です。

※「Suica」および「odeca」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

※「KURURU」は長野市公共交通活性化・再生協議会の登録商標です。

※長野県 PR キャラクター「アルクマ」©長野県アルクマ 23-0090